

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>41%</td></tr> <tr><td>②</td><td>59%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	41%	②	59%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標や教育方針については高い肯定的評価を得ている。課題は、そのこと（学校が目指している方向）を更に実感してもらえるような広報活動と教育活動による成果であると考える。
	評価項目	割合														
	①	41%														
	②	59%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程をはじめ、学校教育全般において、学校教育目標や教育方針との関連に重点を置く。 ・家庭や地域の教育においても同一歩調で児童の育成を図れるように啓発する。 													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>26%</td></tr> <tr><td>②</td><td>68%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	26%	②	68%	③	4%	④	1%	⑤	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策でよいと思われる。 ・今後も保護者や地域の声に耳を傾け、取り入れていっていただきたい。 	
評価項目	割合															
①	26%															
②	68%															
③	4%															
④	1%															
⑤	1%															
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>37%</td></tr> <tr><td>②</td><td>37%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>5%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>21%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	37%	②	37%	③	0%	④	5%	⑤	21%		
評価項目	割合															
①	37%															
②	37%															
③	0%															
④	5%															
⑤	21%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>41%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>59%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	41%	②	0%	③	59%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い肯定的評価を得ているが、特に地域の方には印象に残らない部分であったようで、未回答も多かった。 ・児童に対しては、教室掲示や、目標の復唱をするクラスの取組などを通じて意識できている割合が高い。
	評価項目	割合														
	①	41%														
	②	0%														
③	59%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>69%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>16%</td></tr> <tr><td>④</td><td>7%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>8%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	69%	②	0%	③	16%	④	7%	⑤	8%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な教育実践の学校教育目標との関りを意識できるような広報活動（学校だよりやホームページ）を更に充実させる。 	
評価項目	割合															
①	69%															
②	0%															
③	16%															
④	7%															
⑤	8%															
保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>45%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>50%</td></tr> <tr><td>④</td><td>4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	45%	②	0%	③	50%	④	4%	⑤	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策でよいと思われる。 ・学区内にある企業（スーパー等）や公共機関（郵便局、市民センター）などとも、鶴二小の子供たちについて学校評価や情報の共有がもっとできると良い。 	
評価項目	割合															
①	45%															
②	0%															
③	50%															
④	4%															
⑤	1%															
地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>58%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>16%</td></tr> <tr><td>④</td><td>5%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>16%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	58%	②	0%	③	16%	④	5%	⑤	16%		
評価項目	割合															
①	58%															
②	0%															
③	16%															
④	5%															
⑤	16%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	24%	②	76%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、児童共に高い肯定的評価となったが、コロナ禍の影響で、「学び合い」を充実させることなど、取り入れたくても取り入れられない活動があったことや、授業時数が制限されてしまったことなどで十分にできなかったと感じている教職員も多かった。
	評価項目	割合														
	①	24%														
	②	76%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	75%	②	20%	③	3%	④	2%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで取り組んできたUDの手法を今後も引き継いでいく。 ・コロナ禍でもできる範囲での学び合いは今後も継続していく。 ・個別の支援を必要とする児童への効果的な支援の仕方について学校全体で考えていく。 	
評価項目	割合															
①	75%															
②	20%															
③	3%															
④	2%															
⑤	0%															
保護者				<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策でよいと思われる。 ・個別の支援を必要とする児童に関しては、学童や家庭とも協力しながらできるとよい。（学習環境を整えるという点において） 												
地域																

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変高い評価で、教職員も児童自身も落ち着いて授業を受けることができていると評価している。 ・コロナ禍で、授業参観や学校公開がほぼできなかった関係で、保護者や地域からは「わからない・無答」の割合が高くなってしまった。
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の授業力向上により、落ち着いた態度で学習することのできる児童の更なる学習意欲や学力の向上を図る。 ・児童の学習の様子が伝わるような広報活動（ホームページ等を通じて）を更に充実させる。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>53%</td></tr> <tr><td>②</td><td>47%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	53%	②	47%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い肯定的評価となった。教職員や保護者に関しては、昨年度と比べ「そう思う」の割合が5%程度向上している。 ・Hyper-QU（学校生活における児童生徒の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定するもの）などの調査も活用し、児童理解に努めるとともに、組織として教育相談、生徒指導の活動にあたっている成果と考える。
	評価項目	割合														
	①	53%														
	②	47%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>78%</td></tr> <tr><td>②</td><td>15%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>2%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	78%	②	15%	③	4%	④	2%	⑤	2%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、迅速かつ適切に児童理解やトラブルへの対応を組織的に行っていく。 ・児童が自ら正しい行動をとれるよう、道徳の授業や普段の生活の中で、集団生活や社会生活でのルールやマナーについての指導を更に充実させていく。 	
評価項目	割合															
①	78%															
②	15%															
③	4%															
④	2%															
⑤	2%															
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>52%</td></tr> <tr><td>②</td><td>46%</td></tr> <tr><td>③</td><td>1%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	52%	②	46%	③	1%	④	1%	⑤	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・hyper-QUの結果など、関係機関や保護者とも共有して、子どもたちをみんなで見守って欲しい。 	
評価項目	割合															
①	52%															
②	46%															
③	1%															
④	1%															
⑤	1%															
地域																

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>22%</td></tr> <tr><td>②</td><td>72%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	22%	②	72%	③	6%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様の高い肯定的評価となった。 ・地域の方にとっては、学校の中で子供が決まりを守って生活しているかどうかについては「わからない」と回答する割合も増えてしまったので、子供たちの学校での様子をもっとわかるような広報活動が必要と考える。
	項目	割合														
	①	22%														
	②	72%														
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>34%</td></tr> <tr><td>③</td><td>7%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	59%	②	34%	③	7%	④	0%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の落ち着いた生活の様子や児童の良い活動について更に評価していくことにより、今後も落ち着いた学校生活が送れるようにするとともに、児童の自己肯定感を高めていく。 	
項目	割合															
①	59%															
②	34%															
③	7%															
④	0%															
⑤	0%															
保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>36%</td></tr> <tr><td>②</td><td>57%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	36%	②	57%	③	5%	④	2%	⑤	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 	
項目	割合															
①	36%															
②	57%															
③	5%															
④	2%															
⑤	0%															
地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>26%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>37%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	26%	②	32%	③	5%	④	37%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p>	
項目	割合															
①	26%															
②	32%															
③	5%															
④	37%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>18%</td></tr> <tr><td>②</td><td>71%</td></tr> <tr><td>③</td><td>12%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	18%	②	71%	③	12%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き「あいさつ」は、本年度も課題となっている。 ・特に今年度はコロナ禍で、学校再開のタイミングで声を出しての挨拶を自粛させる指導をせざるを得なかったことの影響が大きい。 ・教職員が上手なあいさつのできる児童を評価したり、スクールガードさんたちが継続して声がけしてくださっていることもあり徐々にではあるがあいさつは向上している。
	評価項目	割合														
	①	18%														
	②	71%														
③	12%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>53%</td></tr> <tr><td>②</td><td>34%</td></tr> <tr><td>③</td><td>10%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	53%	②	34%	③	10%	④	0%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた代表委員会によるあいさつ運動など、コロナ禍で今年度できなかった取組については、来年度に行っていく。 ・上手なあいさつを褒めていくこと、教師の率先垂範を更に進める。 ・ホームページや学校だよりを通じて、保護者・地域による子供たちへの声がけもお願いしていく。 	
評価項目	割合															
①	53%															
②	34%															
③	10%															
④	0%															
⑤	0%															
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>19%</td></tr> <tr><td>②</td><td>48%</td></tr> <tr><td>③</td><td>27%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	19%	②	48%	③	27%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・校舎内ではどの学年も元気にあいさつをしてくれている。学校外で挨拶が少ないのは仕方ないことと思う。 ・スクールガードに立ち止まって頭を下げて挨拶してくれる児童がいてうれしく思う。児童の頑張りは、学校の頑張りの成果でもあると思う。 ・班長がしっかりあいさつができる班では、班員のあいさつも良い。班長の役割は大きい。 ・マスク姿でも元気に挨拶してくれる児童や、放課後や土日などで会っても挨拶してくれる児童もいる。 	
評価項目	割合															
①	19%															
②	48%															
③	27%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>11%</td></tr> <tr><td>②</td><td>47%</td></tr> <tr><td>③</td><td>26%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	11%	②	47%	③	26%	④	0%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	11%															
②	47%															
③	26%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比較して「そう思う」と評価する割合が教職員で37%、児童は2%、保護者は7%、地域は23%向上した。 ・学校では避難訓練や、不審者対策、登下校に関する注意喚起も計画的及び随時行っているが、登下校に関しては、保護者やスクールガードさんを中心とした地域の方々の協力による効果が大きい。
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報や安全に関する情報提供や啓発は、ホームページやC4thメール等を通じて今後も適切に伝えていく。 ・保護者、地域の方との情報交換や協力体制の更なる充実を図る。
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・朝は整然と登校しているが、スピードを出して通り過ぎる車も多いので、道路を横断する場所へのスクールガードの配置がない場所がないようにしたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察									
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>65%</td></tr> <tr><td>②</td><td>35%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	65%	②	35%	③	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる発信を増やしたこともあり、「そう思う」の割合は教職員で41%、保護者では4%、地域では10%増えたが、「わからない・無答」との地域の声も多かった。 ・今年度は、コロナ禍で、授業参観や学校公開、行事における保護者や地域への公開について中止せざるを得ない場面が多かったことが大きく影響したと考える。 	
	評価項目	割合											
	①	65%											
	②	35%											
③	0%												
生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページ、メール等により、学校の情報を今後も発信していく。 ・公開や交流等が可能な状況になったらではあるが、地域行事等の様々な場面で、学校との関りを深めていく。 										
保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>42%</td></tr> <tr><td>②</td><td>51%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	42%	②	51%	③	6%	④	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・コロナ禍で児童・保護者・地域の方々との関りが今までにないほど少なく、寂しく感じた。 ・学校だよりを通して様子がよくわかる。 ・ホームページにも積極的に目を通すようにしたい。
評価項目	割合												
①	42%												
②	51%												
③	6%												
④	1%												
地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>37%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>26%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	37%	②	32%	③	5%	④	26%	
評価項目	割合												
①	37%												
②	32%												
③	5%												
④	26%												

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、保護者ともに肯定的評価が90%を超える高い評価となった。 ・今年度は特にコロナ禍で外部との接触を極力避ける必要があったため、教育活動に関する地域人材の活用が難しかった。 ・環境整備等に関する保護者や地域の協力に関して、教職員からの感謝の声も多かった。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団、地域支え合い協議会を通して、更に地域人材を活用したり、子供たちの様子をもっと伝えていくことにより、人材の増加を図る。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・コロナ禍でなければ、地域の身近な企業様の出張授業や交流を増やして欲しいと思う。
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価が90%を超える高評価となった。 ・特に「そう思う」と回答する割合が、教職員で42%、児童は1%、保護者で9%向上した。 ・普段の清掃活動に加え、委員会やクラブの活動に関する掲示物の充実等に力を入れることができた。
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍での、感染防止も視野に入れた清掃活動を工夫してきたが、今後は更に委員会等児童の主体的な活動を充実させる指導を工夫していく。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね学校の評価・方策で適切だと思われる。 ・うがいや歯磨きによる飛沫の飛散防止に関しても口をおさえてするなどの指導が必要。 ・テレビなどのニュースで不要な不安をあおるような情報に子どもが惑わされないよう願う。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	